

■ 新電力事業の進捗について

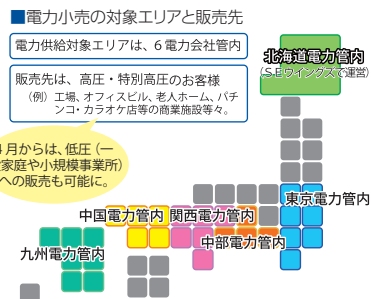
当社は、2001年、全国で8番目に、新電力(特定規模電気事業者)として登録しています。

グループ会社のSEウイングズにおいて、北海道電力管内で電力の販売を行ってきましたが、この度、当社においても本格的に電力小売事業を開始しました。

※新電力…大手電力会社以外で、電力販売が認められている事業者(特定規模電気事業者)のこと。

1. 対象エリア

北海道電力管内に加えて、10月より中部、関西、九州電力管内、11月より東京・中国電力管内での電力小売を開始しました。



2. 電力の調達先

当社が販売・設置した全国の太陽光発電所(顧客)や、グループ会社で運営する苦小牧発電所等が、電力の調達(仕入)先となります。仕入コストが安くなるよう組み合わせさせて調達することで、既存の電力会社より安い料金で、電力を供給します。

※電力使用状況及び電力料金メニューによっては、電気料金が削減できない場合もあります。

■ 電力の調達先

太陽光発電

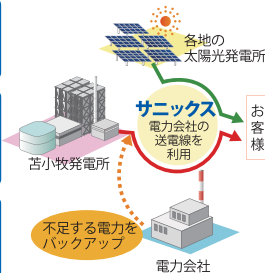
当社が設置した太陽光発電の電力を買取。

苦小牧発電所

環境資源開発で燃料化したプラスチックを使用する火力発電所。子会社、株式会社サニックスエナジーが運営。

その他(電力会社、卸市場等)

日本卸電力取引所(JEPX)や大手電力会社(東京電力など)から調達。



3. 今後の展望

来年4月には、電力の小売が全面自由化され、販売先として一般家庭や小規模事業所も視野に入ることになります。

当社は、「電力の創出(太陽光発電や資源循環型発電)」から「電力の供給(小売)」までを手がける企業として、環境に配慮したエネルギー事業の展開を、さらに推し進めてまいります。



需給管理を行うスタッフ



[会社概要] (平成27年9月30日現在)

商 号 株式会社サニックス
本 社 福岡市博多区博多駅東2丁目1番23号
設 立 昭和53年9月
資 本 金 140億4,183万円
従業員数 2,882人(連結) ※サニックス単体2,648人

株 主 メ モ	
事 業 年 度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会議決権の基準日	毎年3月31日
剰 余 金 配 当 の 基 準 日	毎年3月31日、6月30日、9月30日、12月31日
定 時 株 主 総 会	毎年6月
株 主 名 簿 管 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同 連 絡 先	
上 場 証 券 取 引 所	東証一部、福証
公 告 の 方 法	電子公告 公告掲載URL http://sanix.jp (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社サニックス

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目1番23号
TEL.092-436-8870
URL.<http://sanix.jp>



SANIX
株 主 通 信
第38期第2四半期累計期間
平成27年4月1日から平成27年9月30日まで

■ 新電力事業の進捗について

当社は、2001年、全国で8番目に、新電力(特定規模電気事業者)として登録しています。

グループ会社のSEウイングズにおいて、北海道電力管内で電力の販売を行ってきましたが、この度、当社においても本格的に電力小売事業を開始しました。

※新電力…大手電力会社以外で、電力販売が認められている事業者(特定規模電気事業者)のこと。

1. 対象エリア

北海道電力管内に加えて、10月より中部、関西、九州電力管内、11月より東京・中国電力管内での電力小売を開始しました。



2. 電力の調達先

当社が販売・設置した全国の太陽光発電所(顧客)や、グループ会社で運営する苦小牧発電所等が、電力の調達(仕入)先となります。仕入コストが安くなるよう組み合わせさせて調達することで、既存の電力会社より安い料金で、電力を供給します。

※電力使用状況及び電力料金メニューによっては、電気料金が削減できない場合もあります。

■電力の調達先

太陽光発電

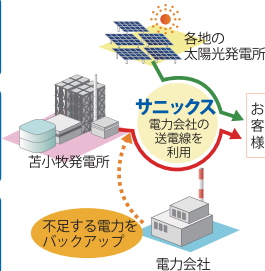
当社が設置した太陽光発電の電力を買取。

苦小牧発電所

環境資源開発で燃料化したプラスチックを使用する火力発電所。子会社、株式会社サニックスエナジーが運営。

その他(電力会社、卸市場等)

日本卸電力取引所(JEPX)や大手電力会社(東京電力など)から調達。



3. 今後の展望

来年4月には、電力の小売が全面自由化され、販売先として一般家庭や小規模事業所も視野に入ることになります。

当社は、「電力の創出(太陽光発電や資源循環型発電)」から「電力の供給(小売)」までを手がける企業として、環境に配慮したエネルギー事業の展開を、さらに推し進めてまいります。



需給管理を行うスタッフ



[会社概要](平成27年9月30日現在)

商号 株式会社サニックス
本社 福岡市博多区博多駅東2丁目1番23号
設立 昭和53年9月
資本金 140億4,183万円
従業員数 2,882人(連結) ※サニックス単体2,648人

株主メモ	
事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会議決権の基準日	毎年3月31日
剰余金配当の基準日	毎年3月31日、6月30日、9月30日、12月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先	
上場証券取引所	東証一部、福証
公告の方法	電子公告 公告掲載URL http://sanix.jp (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社サニックス

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目1番23号
TEL.092-436-8870
URL.<http://sanix.jp>



SANIX
株主通信
第38期第2四半期累計期間
平成27年4月1日から平成27年9月30日まで

株主の皆様へ

株主の皆様には、サニックスの事業へのご理解とご支援を頂き、厚く御礼申し上げます。

太陽光発電事業の事業環境の変化を受け、当社SE（ソーラーエンジニアリング）事業部門におきまして、系統の残容量に余裕のある東京・関西・中部電力管内の体制を強化してまいりましたが、当第2四半期連結累計期間は、売上構成比が高かった西日本地区を中心に、売上高が大きく減少いたしました。

つきましては、当第2四半期連結累計期間における業績進捗や事業環境を踏まえ、11月13日に、通期業績予想を下方修正いたしました。誠に申し訳なく、株主の皆様にご迷惑をお詫び申し上げます。太陽光発電の製造から、販売、施工、メンテナンスまで一貫して行う体制を強みに、営業力を強化するとともに、さらなる経営合理化による利益率向上に努め、業績の向上を図ってまいります。

また、この10月から、新電力事業として、電力の小売を本格的に開始いたしました。当社が各地に販売・設置した小規模の太陽光発電所や、子会社が運営する火力発電所（サニックスエナジー・苫小牧発電所）等から電力を調達し、工場やオフィスビル、商業施設等のお客様に供給しております。来年4月の電力小売全面自由化によるマーケットの広がりをにらみ、電力小売事業を積極的に展開してまいります。

電力システム改革が進む中、当社といたしましては、エネルギーの創出から供給までを手がける企業として、社会的ニーズに応えつつ、業績向上を実現してまいります。

今後とも、変わらぬご支援を賜りますよう、心より、お願い申し上げます。

平成27年12月



株式会社サニックス
代表取締役社長

泉政伸一

事業概況

当第2四半期連結累計期間における売上高は、太陽光発電事業を取り巻く市場環境が変化したことによる影響等を受け、SE事業部門において、大幅な減収となりました。環境資源開発事業部門は、廃プラスチックの受入単価低下による「プラスチック燃料収入」の減収及び、苫小牧発電所の法定点検・定期修理実施に伴う「売電収入」の減収を主因とし、減収となりました。HS（ホーム・サニテーション）及びES（エスタブリッシュメント・サニテーション）事業部門は、メンテナンスを主業務としたことにより、減収となりました。この結果、グループ全体の売上高は30,631百万円（前年同期比30.4%減）となりました。利益面では、SE事業部門は1,372百万円の営業損失（前年同期は2,277百万円の営業損失）、環境資源開発事業部門は178百万円の営業損失（同498百万円の営業利益）、HS事業部門は588百万円の営業利益（前年同期比33.2%減）、ES事業部門は25百万円の営業利益（前年同期は59百万円の営業損失）となりました。グループ全体では、2,483百万円の営業損失（同2,717百万円の営業損失）、2,364百万円の経常損失（同2,859百万円の経常損失）、2,940百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失（同3,194百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

■通期連結業績予想数値（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

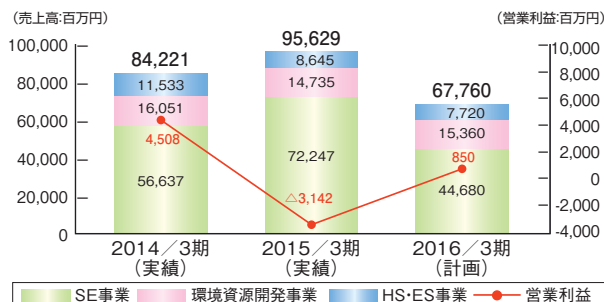
第2四半期累計期間における業績が前回予想を下回ったことに加え、太陽光発電事業において、当下半期における売上高が前回予想を下回る見込みであることから、通期予想を修正いたしました。

（単位：百万円）

	2016/3期		差異
	5/13発表計画	11/13修正計画	
売上高	78,000	67,760	△10,240
SE事業部門	54,724	44,680	△10,044
環境資源開発事業部門	15,032	15,360	+328
HS・ES事業部門	8,244	7,720	△524
営業利益	4,000	850	△3,150
経常利益	3,820	920	△2,900
親会社株主に帰属する当期純利益	2,820	60	△2,760

△は減少。

■売上高と営業利益の推移（連結）



●SE部門の2014年3月期の実績は、HS・ES部門の太陽光発電システムの実績を組替えて表示しています。
●HS・ES部門の2014年3月期の実績は、太陽光発電システムの実績を含んでいません。

連結財務諸表

■貸借対照表

（単位：百万円）

項目	期別	前上期 (H26/9)	当上期 (H27/9)	前通期 (H27/3)
資産の部				
流動資産		34,058	20,432	31,569
固定資産		17,111	17,273	17,551
資産合計		51,170	37,706	49,120
負債の部				
流動負債		35,649	27,548	35,560
固定負債		6,604	5,795	6,229
負債合計		42,254	33,343	41,789
純資産の部				
純資産合計		8,916	4,362	7,331
負債純資産合計		51,170	37,706	49,120

■損益計算書

（単位：百万円）

項目	期別	前上期 (H26/4～9)	当上期 (H27/4～9)	前通期 (H26/4～H27/3)
売上高		44,008	30,631	95,629
（SE事業部門）		32,071	19,713	72,247
（環境資源開発事業部門）		7,316	6,866	14,735
（HS・ES事業部門）		4,621	4,052	8,645
売上原価		34,664	24,767	76,721
売上総利益		9,343	5,863	18,907
販売費及び一般管理費		12,060	8,347	22,049
営業利益（△損失）		△2,717	△2,483	△3,142
営業外収益		146	255	278
営業外費用		288	136	575
経常利益（△損失）		△2,859	△2,364	△3,439
特別利益		—	—	—
特別損失		—	419	271
税金等調整前四半期（当期）純利益（△損失）		△2,859	△2,784	△3,710
法人税、住民税及び事業税		244	158	399
法人税等調整額		92	△2	857
少数株主利益（△損失）		△1	0	△0
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益（△損失）		△3,194	△2,940	△4,966

■所有者別株式状況（平成27年9月30日現在）

金融機関	2,826千株	5.92%
金融商品取引業者	1,027千株	2.15%
その他法人	9,897千株	20.74%
外国法人等	3,324千株	6.97%
個人その他	30,639千株	64.21%
計	47,715千株	100.00%